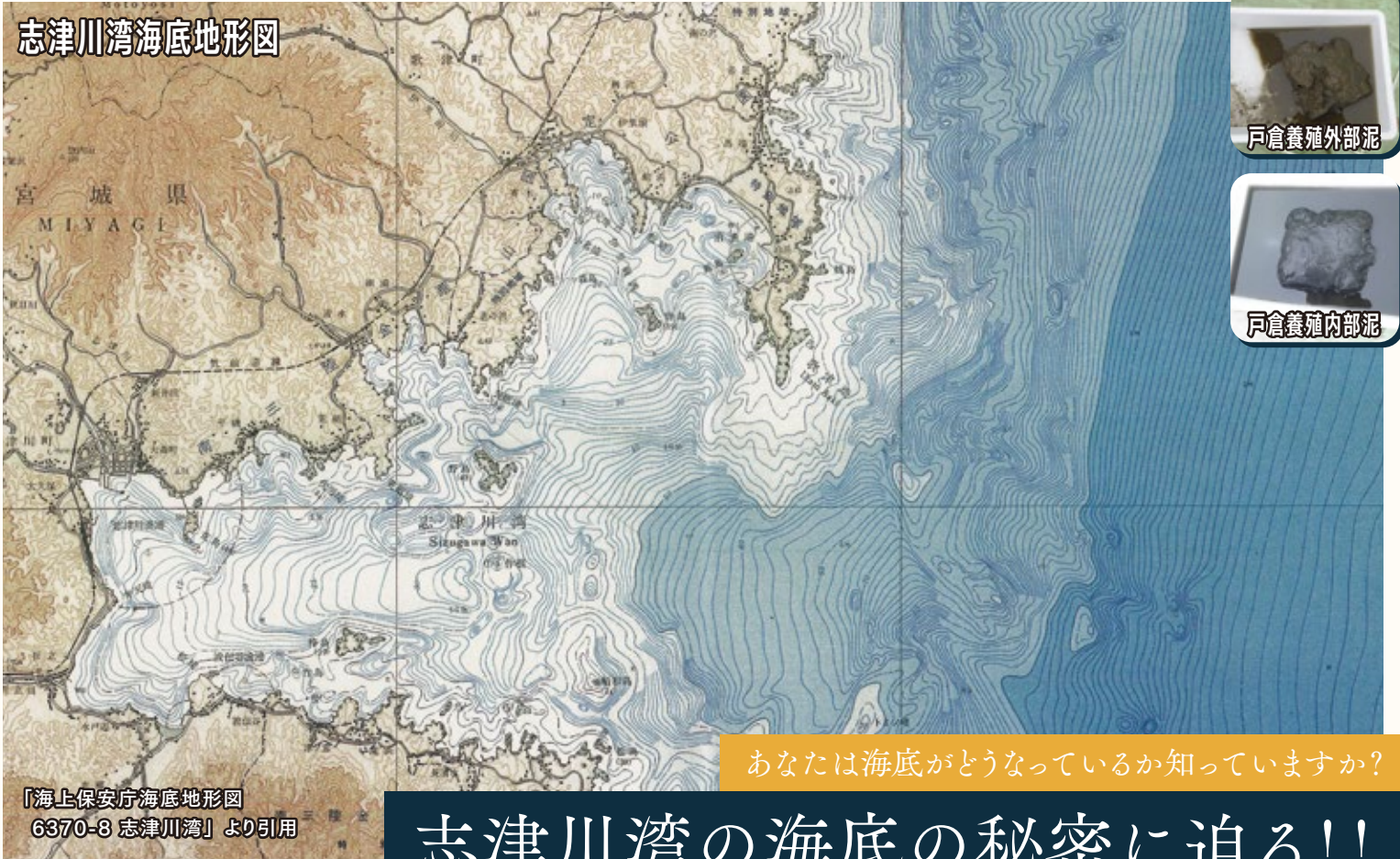


地形と地質から南三陸の豊かさを語る ～テロワールを捜して～



あなたは海底がどうなっているか知っていますか？

志津川湾の海底の秘密に迫る！！

2020 **2.20** (木) [18:30 開場] 19:00 - 20:30

会場 南三陸町生涯学習センター
第一研修室にて [南三陸町志津川字新井田 165 番地 1]

参加費 **入場無料** 主催：南三陸ネイチャーセンター友の会
令和元年 南三陸町おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師
東京海洋大学 特任教授
北里 洋 (きたざとひろし)

東京都杉並区出身。小さい時は、雨だれやツバメの巣作りを一日中見ているような子だった。長じて、化石の研究をすべく東北大学理学部地質学古生物学教室の門を叩いた。9年間、山形、秋田、そして千葉の山や丘陵を歩いた。三陸の海辺は部活で歩き回ったほか、海水浴でも訪れた。その後、化石を研究するには生きている状態を知らねばと思ひ至り、殻を持つ生物の生態を観察し、また環境条件を変えた培養実験をするようになった。現在は、地球生命科学なる分野を立ち上げて、生物と地学を行き来している。



志津川湾を望む南三陸町は、豊かな自然に恵まれた土地です。懐が深い山に囲まれた志津川湾は栄養豊かで、生物生産性も高いと言われています。しかし、私たちは志津川湾の海底がどうなっているかは、実は知りません。海底地形は？ 底質は？ 生物は？ 陸と海との繋がりは？ **沿岸の生き物たちは、地形や地質を含んだ自然に影響されて、特徴が出ている**と思うのです。

「テロワール」という言葉があります。ワインのブドウが、土地、気候、人的な要因が異なると、土地ごとに異なる癖を持つブドウになり、ワインの味も異なることを言います。畑ごとに日当たりが異なり、土壌や石の特徴も違うと、それぞれ違うブドウが育つのです。また、住人の文化が違えば好みも変わってきます。これらの複合的な特徴を丸めてテロワールというのだと理解します。皆さんと、「海のテロワールを探したい」。これが、今回話をさせていただきたい動機です。

本講座では、**志津川湾を取り巻く南三陸の地形と地質を見て景色を楽しみ、海岸をぶらつき、そして海の中を覗いて、志津川湾の特徴を掴んでゆきます**。「プラタモリ」ならぬ、「ブラひろし」です。お付き合ってください。